

# Offshore 7 1987

社団法人 日本外洋帆走協会発行 No. 148/300円

昭和62年7月15日発行(毎月1回15日発行) 昭和52年7月21日第三種郵便物認可



クラブレースが盛んな相模湾にて  
写真提供：オーシャンライフ

# メルボルン / 大阪

## まとめ

# ダブルハンドヨットレース1987

(ヤマハ大阪カップ推進協議会ニュースレターNo.5より)

大阪市長 大島 靖

(社)日本外洋帆走協会副会長  
 ヤマハ大阪カップ ダブルハンド  
 ヨットレース1987 レース委員長

秋田博正

大阪港開港120年を記念して、姉妹都市・姉妹港のメルボルンと大阪を結んだ、世界初の太平洋縦断ヨットレースが、本日、オランダ艇〈ボリスB〉のフィニッシュを持って、成功裡のうちにレースを収束することができました。

これもひとえに、関係各位の御支援・御協力の賜と感謝申し上げる次第であります。

今後4年ごとに開催し、世界でも屈指の国際ヨットレースに育成したいと考えておりますので、引き続き、皆様方の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、本ヨットレースの開催を契機として、国内における海洋スポーツの振興と普及がはかれるとともに、大阪北港ヨットハーバーが市民の憩いの場として、大きく発展することを期待しております。

最終艇がフィニッシュし、世界初の太平洋縦断コースによる、ヤマハ大阪カップダブルハンドヨットレース1987は終了いたしました。

このレースは広く世界各国の反響を呼び、7ヶ国から64艇の参加を得ましたが、この参加艇数は、わが国で主催した長距離外洋ヨットレースにおいては画期的な数であります。

途中18艇の棄権等がありましたが、特に1名の行方不明者を出したことは誠に遺憾であり、〈キャスタウェイフィジー〉のコーリン・アクハースト氏の御冥福を衷心よりお祈りいたします。

国際色豊かなこのレースは、大阪・メルボルン両市

## ☆ 入賞者リスト ☆

クラス	受賞	艇名	国籍	スキッパー & クルー
レーサー グループ (クラスA)	優勝	SDC波切大王	日本	大儀見 薫(57) ワーウィック・トンブキンズ(54)
	2位	ドクターライ	日本	岡本 頼(39) 渡真利将博(37)
	3位	アルスター	オーストラリア	アルビー・バーギン(71) グレッグ・コーワン(29)
レーサー グループ (クラスB)	優勝	キリビリー	オーストラリア	デイビッド・アダムス(33) デイビッド・ギディー(35)
	2位	クイック・シルバー	ニュージーランド	ボイド・スミス(25) ジャン・フィリップ・ラムリック(21)
	3位	どんがめVIII	日本	渡辺康夫(37) 松浦 剛(29)
クルーザー グループ	優勝	リウォード	ニュージーランド	ジョン・リドガード(55) ヘザー・リドガード(54)
	2位	メージュ	フランス	アラン・デュラント(29) フィリップ・ブラン(20)
	3位	サンチェイサー	オーストラリア	イアン・ランデル(42) ウォーレン・ウイリス(36)
ファーストホーム		SDC波切大王	日本	大儀見 薫(57) ワーウィック・トンブキンズ(54)

の間はもちろん、広く世界に友情の輪を拡げました。しかも各国からの参加者の中には熟年と呼ばれる年齢層の方々も多く、〈SDC 波切大王〉の優勝は素晴らしいものです。また〈キリビリー〉をはじめ遭難艇の救助に赴いたヨットの、同じヨット乗りとしての友情を心より称えたく思います。

このレースがセーリング技術や造艇技術の向上に資した点も大きく、今回のレースを振り返ってみると、着実にセーリングや造艇の基本を求めながら、しかも最新の科学を活用して、たくましくセーリングする事の重要性をあらためて教えてくれました。

今後このレースは4年ごとに開催し、国際的にも著名な定着したヨットレースに育てあげたいと考えております。

今回のレースが色々の意味で大きな成功を収め得たことは、大阪市、メルボルン市、ヤマハ発動機株式会社を始め、関係各方面の方々の方ならぬ温かく力強い御支援御尽力によるもので、心より感謝致しております。またレース運営に当りました日本外洋帆走協会、サンドリングムヨットクラブの方たちの、熱意あふれる努力にも深く敬意を表します。

ヤマハ発動機株式会社

代表取締役社長 江口秀人

大阪港開港120年を記念し、世界初の太平洋縦断ヨットレース「YAMAHA OSAKA CUP 1987」は、3月21日メルボルン港を一斉にスタートしてから赤道を越え、幾多の難関を乗り切り、本日6ヶ国46艇が完走し終了致しました。

世界の人々に「夢と希望と勇気」を与えてくれた参加者の皆様の栄光を讃え、祝福申し上げます。

本レースが人々の海洋スポーツへの関心を高め、世界の国々の友好と親善の輪を広げ、国境を越えたイベントとして成功裡に終了できましたことは、ひとえに関係各位の絶大なる御支援・御協力の賜物と存じます。

ここに厚く御礼申し上げます。

(社)大阪港振興協会

会長 福山眞三郎

世界初の太平洋縦断ヨットレース「YAMAHA OSAKA CUP メルボルン／大阪ダブルハンドヨットレース1987」を大阪港開港120年記念事業として推し進めてまいりました。

その結果、長距離レースとしては世界でも例を見ない10ヶ国90艇のエントリーがあり、内7ヶ国64艇が3月21日メルボルン港を盛大にスタートいたしました。気象・海象の変化に富んだレースコースのため、リタイアする艇もありましたが、46艇が無事大阪北港ヨットハーバーにフィニッシュし、レースは終了しました。

国際ビッグヨットレースとして、成功裡のうちに終了することができましたのも、御尽力いただきました関係各位のお陰であると感謝いたしております。

本ヨットレースもまだまだ第一歩を歩みだしたばかりであります。今後4年ごとに開催し、世界でも有数の国際ビッグヨットレースに育成していきたいと考えておりますので、引き続き御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 表彰式・レセプションが開かれる

昭和62年5月9日(出都ホテル大阪)において、10ヶ国90艇のエントリーがあった「YAMAHA OSAKA CUP メルボルン／大阪ダブルハンドヨットレース1987」の表彰式、レセプションが開かれました。

表彰式は、午後5時から同ホテル4階大和の間で行なわれ、大島大阪市長、秋田博正日本外洋帆走協会副会長、江口秀人ヤマハ発動機株式会社社長、福山眞三郎大阪港振興協会会長からレーサーグループクラスA、クラスB、クルーザーグループの各1位艇にYAMAHA OSAKA CUP、各2位艇にトロフィー、各3位艇にトレイ、ファーストホーム艇にカップが贈呈されました。またオーストラリア沖で遭難した〈キャ

スタウェイ・フィジー〉の救助活動に向った5艇を始め、参加艇に特別賞が贈られました。会場には、来賓、レース関係者、エントランツ及びその家族など約200名の方々が参列する中、入賞者に対し措しめない拍手が贈られました。

また午後6時から同ホテル4階浪速の間において、エントランツの健闘をたたえるため、レセプションが開かれ、約1,000名にのぼる関係者が参加しました。会場では、レースの印象的な場面の映写、入賞者の紹介、アトラクションなどが行なわれ、エントランツを囲んでの歓談の輪が随所に見られました。

## ☆ 特別賞表彰 ☆

	受賞名	艇名	国籍	授与団体
1	キャストウェイ・フ ィジの救助活動に 向かった5艇	キリビリー	オーストラリア	大阪市 (社)日本外洋帆走協会 ヤマハ発動機(株)
		シトカ	オーストラリア	
		サンチェイサー	オーストラリア	
		デヴォーナ	ニュージーランド	
		サーアイザック	アメリカ	
2	オーストラリアの 1位艇	アルスター	オーストラリア	オーストラリア 総領事館
3	フランスの1位艇	メージュ	フランス	フランス総領事館
4	最年少賞	S&BフレッシュO <sub>2</sub>	日本	日本コンベンション サービス(株)
5	ベストシーマンズ賞	キリビリー	オーストラリア	(株)角川書店
6	フルムーン賞	ベンガルII	日本	(株)都ホテル大阪
	救助活動功労賞	キリビリー	オーストラリア	
7	おしどり賞	ベンガルII	日本	東洋通信機(株)
8	ファーストホーム艇	SDC波切大王	日本	イースタンシーロード サービス
9	各クラスの優勝艇	SDC波切大王	日本	長栄国際(株)
		キリビリー	オーストラリア	
		リウワード	ニュージーランド	
10	クルーザーグループ の日本艇の1位	S&BフレッシュO <sub>2</sub>	日本	ミュアエンジニアリング
11	全艇に対して	代表で SDC波切大王	日本	大阪市・ヤマハ発動機(株)
12	第1レグの各クラス 優勝艇	ベンガルIII	日本	メルボルン港湾局
		コーベゴフル	日本	
		リウワード	ニュージーランド	

# レース結果

## レーサーグループクラスA

順位	エントリー№	艇名	スキッパー	クルー/共同スキッパー	国籍	到着日時	所要時間
1	46	SDC波切大王	ワーウィック・トンプキンス(54)	大儀見 薫(7)(CS)	日本	4月23日 7時 6分26秒 31日19時00分 6分26秒	
2	39	ドクター・ライ	岡本 頼(39)	渡真利将博(37)	日本	4月24日 2時19分40秒 32日14時19分40秒	
3	95	アルスター	アルビー・バーギン(71)	グレッグ・コーワン(29)	オーストラリア	4月25日 1時46分27秒 33日15時46分27秒	
4	1	ベンガルII	丹羽徳子(50)	丹羽由昌(50)	日本	4月26日10時20分 6秒 34日22時20分 6秒	
5	19	サー・アイザック	ロッド・ホルト(52)	ボブ・グーディ(44)	アメリカ	4月26日14時11分55秒 35日 2時11分55秒	
6	7	コーデン・オケラVII	斉藤茂夫(44)	多田雄幸(56)	日本	4月27日 8時10分53秒 35日20時10分53秒	
7	61	スカーバ	トニー・ウィック(39)	アーノルド・ティクル(40)	オーストラリア	4月29日 5時51分 3秒 37日17時51分 3秒	
8	57	グンゼ・ゼグ	小田義秀(41)	飯田義輝(39)	日本	4月30日 7時 1分37秒 38日19時01分 37秒	
9	18	シトカ	ブレンダン・ハント(30)	サイモン・ケレット(26)(CS)	オーストラリア	5月 2日16時52分55秒 40日20時23分55秒	
10	64	ノット・ギルディー	セドリック・ホワイト(45)	マルコム・フィールド(45)	オーストラリア	5月 5日13時39分22秒 44日 1時39分22秒	
11	41	ジュゴン	ロナルド・スペンス(60)	マレー・スペンス(30)(CS)	オーストラリア	5月 7日19時13分 5秒 46日 7時13分 5秒	
12	86	マルー・オブ・マン	ドン・ウッド(52)	ジョージ・モトル(57)	オーストラリア	5月14日 9時59分24秒 52日21時59分24秒	

## レーサーグループクラスB

順位	エントリー№	艇名	スキッパー	クルー/共同スキッパー	国籍	到着日時	所要時間
1	52	キリビリー	ディビッド・アダムス(33)	ディビッド・ギディ(35)	オーストラリア	4月27日 3時52分 7秒 34日19時47分 7秒	
2	82	クイック・シルバー	ボイド・スミス(25)	ジャン・フィリップ・ラムリック(21)	ニュージーランド	4月28日11時 9分42秒 36日23時00分 9分42秒	
3	4	どんがめVIII	渡辺康夫(37)	松浦 剛(29)	日本	5月 1日 7時30分17秒 39日19時30分17秒	
4	74	セカンド・グランズ	ピーター・ハンス(27)	サイモン・ジェニングズ(28)	ニュージーランド	5月 1日 9時18分25秒 39日21時18分25秒	
5	73	ボヘミアン	ティモシー・エドクミンズ(32)	ロバート・ハリソン(33)(CS)	オーストラリア	5月 2日 9時22分11秒 40日21時22分11秒	
6	49	レネゲイド	トレバー・スミス(51)	ニル・ベンバートン(23)	ニュージーランド	5月 3日 7時27分33秒 41日19時27分33秒	
7	40	メルサカ	グラハム・ワーナー(62)	レスリー・ベリマン(60)(CS)	オーストラリア	5月 4日 7時45分 9秒 42日19時45分 9秒	
8	69	つばくろ	幸村至峻(40)	岡田敏久(42)	日本	5月 5日12時11分21秒 44日 0時11分21秒	
9	3	おいどん	藤田弘治(40)	矢嶋 滋(28)	日本	5月 6日 7時17分40秒 44日19時17分40秒	
10	8	ハート・オブ・グリコ	岡本卓也(49)	宇野浩助(19)	日本	5月 6日17時37分16秒 45日 5時37分16秒	
11	38	星羅	四本 泉(32)	四本智子(26)	日本	5月 7日10時46分52秒 45日22時46分52秒	
12	84	メルシンIII	ジョーガン・ホーカー(36)	チャーリー・スミス(33)	アメリカ	5月 7日13時42分29秒 46日 1時42分29秒	
13	60	ズー	坂田重樹(33)	中川英子(33)	日本	5月10日11時18分20秒 48日23時18分20秒	
14	77	スノー・グースIII	ピーター・ニール(31)	デリー・ニール(25)	オーストラリア	5月14日18時49分29秒 53日 6時49分29秒	

## クルーザーグループ

順位	エントリー№	艇名	スキッパー	クルー/共同スキッパー	国籍	到着日時	所要時間
1	15	リウォード	ジョン・リドガード(53)	ヘザー・リドガード(54)	ニュージーランド	4月29日13時50分27秒 38日 1時50分27秒	
2	25	メージュ	アラン・デュラント(29)	フィリップ・ブラン(20)	フランス	5月 4日 0時54分53秒 42日12時54分53秒	
3	91	サンチェイサー	イアン・ランデル(42)	ウォーレン・ウィリス(36)	オーストラリア	5月 4日12時20分58秒 42日15時20分58秒	
4	9	ゴールデア・アストラル・ローズ	グレアム・ケンドール(40)	スタン・ピアソン(29)	ニュージーランド	5月 5日 3時 0分30秒 43日15時00分30秒	
5	65	ブランビー	ハンフリー・ジョーンズ(40)	クレア・ジョーンズ(41)	オーストラリア	5月 5日11時28分52秒 43日23時28分52秒	
6	53	テレーム	リシャル・デュフォー(33)	フランソワーズ・マンジェ(28)	フランス	5月 5日13時44分40秒 44日 1時44分40秒	
7	36	マララ	クロード・ギャリシオン(31)	エマニュエル・ボードゥン(24)(CS)	フランス	5月 6日17時35分32秒 45日 5時35分32秒	
8	37	スターウェイブ	ジョン・カークヴリート(43)	ジェニファー・カークヴリート(34)	オーストラリア	5月 6日17時54分41秒 45日 5時54分41秒	
9	31	エスピーフレッシュO <sub>2</sub>	内海昭雄(20)	内海俊雄(18)	日本	5月 7日13時59分40秒 46日 1時59分40秒	
10	22	ベコ	ピーター・ジョンソン(47)	コリー・ジョンソン(45)	ニュージーランド	5月 7日22時22分 0秒 46日10時22分22秒 0秒	
11	54	デヴォーナ	マイケル・ヤング(39)	ジョン・ミラー(47)	ニュージーランド	5月 8日23時 2分 2秒 47日11時02分 2秒	
12	67	テラ・オーストラリス	ブライアン・ジェフリーズ(50)	ルーシー・ジェフリーズ(50)	オーストラリア	5月 9日10時24分50秒 47日22時24分50秒	
13	10	サザン・ソウジャー	ニコラス・ブレッティンガム・ムア(32)	ニコラ・イーストウッド(29)	オーストラリア	5月 9日11時 5分13秒 47日23時05分13秒	
14	56	マーウィング	ブライアン・ハンフリー(39)	ピーター・グレイ(28)	ニュージーランド	5月 9日13時19分54秒 48日 1時19分54秒	
15	87	ジン・ラミー	マックス・マイヤー(41)	ドン・ドラブル(35)	オーストラリア	5月 9日13時25分43秒 48日 1時25分43秒	
16	47	ラコア	ダイソン・ギリバー(56)	デラ・ギリバー(51)	ニュージーランド	5月 9日22時21分 0秒 48日10時21分 0秒	
17	43	ル・ミュタン	ジャン・リュック・エスブラ(28)	ヤオウ・エルベ(27)	フランス	5月11日13時27分31秒 50日 1時27分31秒	
18	24	タサキシジユ・やっちゃん	鎌方志郎(57)	鎌方令子(54)	日本	5月14日19時53分48秒 53日 7時53分48秒	
19	29	タイトア	ロバート・スワン(44)	レスリー・スワン(39)	ニュージーランド	5月16日21時32分57秒 55日 9時32分57秒	
20	68	ボリス・B	ヤープ・ティン・ファン・ベルクホフ(42)	キャンベル・マッケイ(41)	オランダ	5月23日 4時17分52秒 61日16時17分52秒	

NORC関東支部フリート

フリート対抗 チーム成績表

SAIL NO	艇名	第1レース 順位	第1レース 得点	第2レース 順位	第2レース 得点	第4レース 順位	第4レース 得点	第5レース 順位	第5レース 得点	得点計	個別 順位	チーム名	チーム 得点計	チーム 順位
2611	MAPLE	6	28.00	5	43.50	10	24.00	15	38.00	133.50	6			
2422	青葉	17	17.00	18	24.00	22	12.00	10	48.00	101.00	15	横浜	255.00	6
3670	再見	30	4.00	RET	1.50	21	13.00	RET	2.00	20.50	32			
355	SLEEPER	2	32.00	3	46.50	2	32.00	5	58.00	168.50	2	油壺A	253.00	7
3152	CRIMSON	15	19.00	14	30.00	23	11.00	RET	2.00	62.00	20			
3530	SUMMER KNOWS	25	9.00	RET	1.50	24	10.00	RET	2.00	22.50	30			
3335	織姫	8	26.00	9	37.50	7	27.00	14	40.00	130.50	8	油壺B	337.00	3
3410	ZERO II	10	24.00	15	28.50	5	29.00	13	42.00	123.50	11			
188	CONTESSA	14	20.00	16	27.00	DNC	0.00	16	36.00	83.00	17			
3044	MRS. MEDAUSAE V	19	15.00	12	33.00	18	16.00	8	52.00	116.00	12	油壺C	185.00	8
2979	SEA CROWN III	22	12.00	31	4.50	20	14.00	RET	2.00	32.50	26			
2263	DISCO DORI	26	8.00	17	25.50	RET	1.00	DNF	2.00	36.50	25			
3306	RIPPLE II	23	11.00	27	10.50	11	23.00	RET	2.00	46.50	22	油壺D	116.00	11
3558	MAYBE	27	7.00	21	19.50	14	20.00	RET	2.00	48.50	21			
3510	TRACER	29	5.00	24	15.00	DNS	1.00	DNC	0.00	21.00	31			
3001	HALF TIME	3	31.00	8	39.00	6	28.00	3	62.00	160.00	5	シーボニア ムーンライト	449.75	1
3705	MATENROW	7	27.00	6	42.00	1	33.25	2	64.00	166.25	4			
3606	BOY	13	21.00	13	31.50	9	25.00	11	46.00	123.50	10			
3519	LAVIEN ROSE	12	22.00	23	16.50	12	22.00	RET	2.00	62.50	19	シーボニア スターライト	130.00	10
3002	SYLPHIDES V	18	16.00	30	6.00	16	18.00	RET	2.00	42.00	23			
3373	AFRODITA	31	3.00	25	13.50	27	7.00	RET	2.00	25.50	28			
3537	WILL	5	29.00	2	48.00	4	30.00	1	66.50	173.50	1	シーボニア トワイライト	342.00	2
3699	NOVA	16	18.00	11	34.50	15	19.00	4	60.00	131.50	7			
3685	青波行	20	14.00	26	12.00	25	9.00	RET	2.00	37.00	24			
2182	ケロニア	24	10.00	20	21.00	19	15.00	9	50.00	96.00	16	小網代	143.00	9
1155	一乗III	DSQ	-1.00	19	22.50	26	8.00	RET	2.00	31.50	27			
3518	は組	DNS	1.00	29	7.50	29	5.00	DNF	2.00	15.50	33			
3233	SEE ADLER V	4	30.00	7	40.50	DNS	1.00	12	44.00	115.50	13	葉山	301.50	5
3561	CAETLA	11	23.00	22	18.00	17	17.00	6	56.00	114.00	14			
3290	海太郎III	21	13.00	10	36.00	13	21.00	RET	2.00	72.00	18			
3093	FORTY	1	33.25	1	49.88	3	31.00	7	54.00	168.13	3	江ノ島	321.13	4
3544	BLUE NOTE	9	25.00	4	45.00	8	26.00	17	34.00	130.00	9			
3414	OTSHOSAN	28	6.00	28	9.00	28	6.00	RET	2.00	23.00	29			

対抗チームレース成績表 レース委員長：小澤美弘 62.6.5

艇別成績表

SAIL NO	艇名	第1レース		第2レース		第4レース		第5レース		得点計	個別順位
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点		
3537	WILL	5	29.00	2	48.00	4	30.00	1	66.50	173.50	1
355	SLEEPER	2	32.00	3	46.50	2	32.00	5	58.00	168.50	2
3093	FORTY	1	33.25	1	49.88	3	31.00	7	54.00	168.13	3
3705	MATENROW	7	27.00	6	42.00	1	33.25	2	64.00	166.25	4
3001	HALF TIME	3	31.00	8	39.00	6	28.00	3	62.00	160.00	5
2611	MAPLE	6	28.00	5	43.50	10	24.00	15	38.00	133.50	6
3699	NOVA	16	18.00	11	34.50	15	19.00	4	60.00	131.50	7
3335	織姫	8	26.00	9	37.50	7	27.00	14	40.00	130.50	8
3544	BLUE NOTE	9	25.00	4	45.00	8	26.00	17	34.00	130.00	9
3606	BOY	13	21.00	13	31.50	9	25.00	11	46.00	123.50	10
3410	ZERO II	10	24.00	15	28.50	5	29.00	13	42.00	123.50	11
3044	MRS. MEDAUSAE V	19	15.00	12	33.00	18	16.00	8	52.00	116.00	12
3233	SEE ADLER V	4	30.00	7	40.50	DNS	1.00	12	44.00	115.50	13
3561	CAETLA	11	23.00	22	18.00	17	17.00	6	56.00	114.00	14
2422	青葉	17	17.00	18	24.00	22	12.00	10	48.00	101.00	15
2182	ケロニ子	24	10.00	20	21.00	19	15.00	9	50.00	96.00	16
188	CONTESSA	14	20.00	16	27.00	DNC	0.00	16	36.00	83.00	17
3290	海太郎 III	21	13.00	10	36.00	13	21.00	RET	2.00	72.00	18
3519	LAVIEN ROSE	12	22.00	23	16.50	12	22.00	RET	2.00	62.50	19
3152	CRIMSON	15	19.00	14	30.00	23	11.00	RET	2.00	62.00	20
3558	MAYBE	27	7.00	21	19.50	14	20.00	RET	2.00	48.50	21
3306	RIPPLE II	23	11.00	27	10.50	11	23.00	RET	2.00	46.50	22
3002	SYLPHIDES V	18	16.00	30	6.00	16	18.00	RET	2.00	42.00	23
3685	青波行	20	14.00	26	12.00	25	9.00	RET	2.00	37.00	24
2263	DISCO DORI	26	8.00	17	25.50	RET	1.00	DNF	2.00	36.50	25
2979	SEA CROWN III	22	12.00	31	4.50	20	14.00	RET	2.00	32.50	26
1155	— 乗 III	DSQ	—1.00	19	22.50	26	8.00	RET	2.00	31.50	27
3373	AFRODITA	31	3.00	25	13.50	27	7.00	RET	2.00	25.50	28
3414	OTSHOSAN	28	6.00	28	9.00	28	6.00	RET	2.00	23.00	29
3530	SUMMER KNOWS	25	9.00	RET	1.50	24	10.00	RET	2.00	22.50	30
3510	TRACER	29	5.00	24	15.00	DNS	1.00	DNC	0.00	21.00	31
3670	再見	30	4.00	RET	1.50	21	13.00	RET	2.00	20.50	32
3518	は組	DNS	1.00	29	7.50	29	5.00	DNF	2.00	15.50	33

# 第10回 関東支部 フリート対抗チーム・レース

レース委員長 小沢美弘



'87 NORC 関東支部最大のイベント、フリート対抗チームレースが、関西より〈ウィル〉〈青波行〉(シーボニア・フリート所属)の参加を含め、11チーム、33杯の精鋭により、5/16日(土)第1レース~5/30日(土)第5レースまでの15日間、5レース(三角・3Rとショート、ロング・オフショアの5レース)のシリーズで相模湾にて開催され、第1戦は佐島沖にて、オリンピック・コースを快晴、南風6~12ノットの軽風下でスタートがきられた。レースは、1トンクラス以上(11杯)¾クラス(10杯)、½クラス(12杯)にスタートよりグループがわかれ、各クラス別にレベルの高い戦いが展開され中でも1トンクラスは、〈フォーティ〉〈ウィル〉〈マテンロー〉(横山40新艇)など乗手も一流で、見ごたえのある、レースだった。一つのトラブルで、順位が2~3番手下がる程、接近したレースも、〈スリーパー〉〈フォーティ〉とフィニッシュし、修正で1位〈フォーティ〉2位〈スリーパー〉3位〈ハーフタイム〉と、中・大型艇が上位を占め1/2クラスにはきびしいシリーズの1戦となった。



第2戦は、16日夕刻、ショートオフショアレース(初島レース)として、小網代沖をスタート、10~12ノットの南風が夜半まで吹き、カームがあまりないまま、6~10ノットの北風(スピンラン)にのって〈ウィル〉〈フォーティ〉〈スリーパー〉の3艇が秒差でフィニッシュし、その後も1トン勢が入り、先行艇有利のまま終了した。

この週の2戦で、個別では〈フォーティ〉がポイントゲッターに1歩近づき、チーム別では、コンスタントに得点をあげている、シーボニア・ムーンライト・チーム、〈マテンロー〉〈ハーフタイム〉〈ボーイ〉が、2位の江ノ島チームに、20点以上の差をつけ、余裕をもって、次週へと闘志を燃やしているようだった。

第3戦は、日本海に低気圧が入り早朝より20~30mの強い南風が吹き荒れ、正午をもって、第3レースを取消とする。

明けて5/17(日)、日本海より低気圧が去り快晴、12~13mの北風で多少うねりが残ったものの、外洋レーサーにはすばらしいコンディションの中、オリンピッ



ク三角よりも上下1レグ長い、スパー三角にてスタートがきられ、後半風がおちたものの、1屯勢のスピードが良く、1位〈マテンロー〉2位〈スリーパー〉3位〈フォーティ〉4位〈ウィル〉と上位を独占した。ここまでの成績で、上位6艇の得点が接近し最終ロングオフショア次第で逆転もありうる戦いとなり、ロングオフショアにて〈ウィル〉〈スリーパー〉が風のない中、良く走り、〈ウィル〉が逆転のポイントゲッター賞を獲得した。チームレースでは、シーボニア・ムーンライトチーム〈マテンロー〉〈ハーフタイム〉〈ボーイ〉が圧倒的な強さでシーボニア2度目の栄冠を手にした。

最後に今回のシリーズで、クラスV、VIの艇とクラスII以上の艇が、同時にスタートをするのは、小型艇に不利があるように思えてならなかった。タイムを争う競技で、スタート時により良いポジションと、より良い風を数分間(数十分かも)も得られない状態にあることは、大型艇有利、小型艇不利となり、良い方法がすぐにはでないだろうが、何らかの方法を考えない

と、このままでは小型艇の参加が少なくなるのではと思います。現在の関東支部の登録中、1番数の多いクラスであることとあわせ、関係各位に検討をお願いします。



## ▲▲▲▲▲▲▲▲ コンチネンタル カップ ▲▲▲▲▲▲▲▲

# 第4回ジャパングラム・ヨットレース

へのおさそい 委員長 清田 博

真冬の日本から真夏のグアムまで総行程2,500キロ(1,400マイル)、そして1987年から1988年へ、約8日間で帆走出来る、日本で最長のインターナショナル、ヨットレースです。過去3回のレースにおいて、幾多のドラマと感動を生んだ、ジャパングラム・ヨットレースはいよいよ今年12月28日(月)神奈川県三浦市小網代沖をスタートします。

### 実施要項

- 主催 社団法人 日本外洋帆走協会  
マリアナズ ヨットクラブ
- 協賛 コンチネンタル ミクロネシア航空(株)  
グアム政府観光局
- コース及び日時 小網代沖よりグアム島アブラ  
ハーバーまでの約1400マイル。  
スタート日時：昭和62年12月28日(月) 12時
- 艇長会議、前夜祭及び表彰式  
艇長会議：昭和62年12月27日(日)16時～シーボニア  
ベイショアミーティングルームにて。  
前夜祭：昭和62年12月27日(日)1800～2100時 シーボ  
ニア クラブハウスにて。  
表彰式：昭和63年1月7日(木)18時より
- 参加資格 クルザーレーティング、現行のORC  
カテゴリー“1”以上 NORC-Aの安全検査に合格  
またはレースコミッティーが合格とみなした水線長  
7メートル以上の艇、また今回よりダブルハンド艇  
の参加も受け付けます。

6. 参加申込みの締切 昭和62年12月7日(月) 17:30  
までとします。

7. 参加料
- |         |          |      |       |
|---------|----------|------|-------|
| クラス I   | 100,000円 | 前夜祭代 | 9名分含む |
| 〃 II    | 90,000円  | 〃    | 8 〃   |
| 〃 III   | 80,000円  | 〃    | 7 〃   |
| 〃 IV    | 70,000円  | 〃    | 6 〃   |
| 〃 V     | 60,000円  | 〃    | 5 〃   |
| ダブルハンド艇 | 50,000円  | 〃    | 4 〃   |

8. 申込み、問合せ先  
〒104 港区虎ノ門1-15-16 船舶振興ビル4F  
社団法人 日本外洋帆走協会、☎03-504-1911～3  
FAX 03-504-1914

9. 実行委員会 委員長 清田 博  
レース委員会 委員長 浅野英武

10. 通信関係  
有効な通信手段を持つこと。

11. 泊地、スタート側、油壺特別泊地に昭和62年12月20日より27日まで10,000円にてご用意いたします。またグアム・アブラハーバーに短、中、長期間係留の交渉をいたしますので12月7日の申込み締切日前までにご連絡下さい。

また今年はジャパングラム・ヨットレース広報のため全国各支部にビデオテープ、パンフレットを持ちおろうかがいしたいと考えておりますので希望の支部がございましたら清田までご連絡ください。 以上



## 〈ニッポンチャレンジ〉\*\*\*\*\*

**NIPPON CHALLENGE  
AMERICA'S CUP 1991**

\*\*\*\*\*の準備進む

今回1987年のアメリカズカップ・レースは、テレビを通じて日本でも詳しく伝えられ高い関心を集めました。こうして国民の間に広く盛り上がったアメリカズカップへの興味を背景に、我々は去る4月17日に“ニッポンチャレンジ委員会”を発足させました。その後準備は着々と進行していることをご報告できることを幸いに存じます。

改めて委員会についてご紹介しておきますと、その構成は：

ニッポンチャレンジアメリカ杯1991委員会

会長 山崎達光

(日本外洋帆走協会理事/S & B 食品社長)

副会長 江口秀人

(日本舟艇工業会会長/ヤマハ発動機社長)

の2人からなっており、エントリークラブとして日本の外洋ヨットの全国組織である日本外洋帆走協会(Nippon Ocean Racing Club)の全面的な協力をあおぎます。資金面では、日本の一流企業のオフィシャル・スポンサーとしての援助を求めたところ、これまでに11社の御賛同を得、更に10社以上のスポンサーシップを得る計画です。この他、世界に優れた技術を持つ企業や研究所が、オフィシャル・サプライヤーとして、技術や製品の提供を申し入れて頂いております。

一方、国民の間にも支援の動きが広がっており、NORCを始め日本ヨット協会、少年ヨット連盟や大学ヨット部のOB会など、各種ヨット団体の他、会員7万人の日本JCも組織として支援を決議して頂いており、こうしたいわば「草の根」の支持を集めて“帆れニッポン=Sail-on Nippon”キャンペーンをくりひろげる予定です。

チャレンジチームのキャプテンには、日本のディンギー・オフショア両レースを通じて第一人者の小松一憲を任命しました。彼は現在 Soling クラスでソウルオリンピックでのメダルを目指していますが、その練習と併せて日本ではこれまで未知に等しかったマッチ・レースの訓練を始めており、ニュージーランドの Citizen Cup に出場した他、パミューダの Gold Cup、ニューヨークの Liberty Cup、Perth の Australia Cup に、彼もしくは彼のチームメイトがエントリーしております。

クルーについては、現在すでに日本のトップクラスの人材を集めています。加えて若くてパワフルな人材を求めて日本中に公募をしています。これには若者達の間で大きな反響を呼んでおり、間もなく選考を

行ってクルーの結成をはかる考えです。

艇の準備については、サンディエゴ・ヨットクラブが次期開催地とその時期、さらにレース艇の条件などについて、明らかにするのを待っている状態ですが、その間も基礎的な研究を進めており、日本の流体力学のベストメンバーが日本の最大級の水槽を使っての船型テストと、CRAY-XMP スーパーコンピューターを使って解析を始めています。

こうした基礎研究の上で、実際のレース艇の設計は、現在日本のヨットデザインをリードする4人のデザイナー林賢之輔、横山一郎、高井理、久保田彰を、ヤマハ発動機のチーフデザイナーの蒲谷勝治がコーディネートする共同設計方式をとり、次回レースの詳細が判明しだい、まずトライアル・ホースを購入し、この例をベースにサーチを始め、1988年秋に〈ニッポン〉1号が進水、翌89年に2号艇を進水させ、90—91年のレースに望む予定です。

お問い合わせ先

ニッポンチャレンジアメリカ杯1991委員会

〒105 東京都港区東新橋1-1-21 今朝ビル

☎(03)575-0537 FAX(03)575-0229

Syndicate Manager

高木 孝夫

Public/Media Relations

三浦恵美里

### ニッポンチャレンジ委員会 進捗状況

オフィシャルスポンサー

オフィシャルサプライヤー

正式決定 6月5日現在(11社)

企業名

三洋証券 長谷川工務店 SB食品

ヤマハ発動機 住友海上火災 日本航空

丸井 ユニオンクレジット 鹿島建設

CRC(サプライヤー) アシックス(サプライヤー)

近々決定予定(5社)

折衝中(者力候補18社)

有力候補企業(3社)

草の根応援団

全国J・C会員応援決定…現在方法検討中

船員組合 他

技術関係、デザインチーム決定

デザインチームディレクター…蒲谷 勝修

チーフ…林 賢之輔

横山 一郎  
高井 理  
久保田 彰

今後のスケジュール

サンディエゴ Y. C の発表を待って、艇の購入決定  
サルジニア12Mワールド会場にて、次回 A/C に  
挑戦表明

6 月中に試設計開始  
船型委員会発足

委員 横浜国大 工学部  
〃 東京大学 工学部  
〃 三井造船船島研究所  
〃 石川島重工技術研究所  
〃 ヤマハ発動機

既に4回会合を開き活動している。

江口副会長他出席

マッチレースに参戦  
4月…N. Z. シチズンカップ 出場済  
7月…英国キングエドワードゴールドカップ出場予定  
9月…米国リパティーカップ 〃  
10月…オーストラリア オーストラリアカップ 〃

## “ニッポンカップ”準備進む

NORC と日本ヨット協会、葉山マリーナ・ヨットクラブ共催の第1回ニッポンカップ国際ヨットマッチレースは、さる2月米のマッチレースの第一人者ゲリー・ジョブソン氏を招いて、小松一憲選手とトライアルレースを行い実施の目処がついたため、具体的な準備にとりかかってきました。

この間“ワールド・マッチレーシング・コンファレンス”よりその準会員として認められ、伝統あるコンレショナル・カップやシチズン・カップなどと並んで来る日本でのレースが“ワールド・サーキット・シリーズ”の第3戦としての認定を受けました。

“コンファレンス”の前議長のトーマス・シャデン氏（ジョン・シャデン選手の父）も、議長在任中の5月始め商用で日本を訪れた際、葉山沖のレース海面を視察し「風のふれも適当にあって面白そうなコースだ。それに陸上からレースを見物できる立地条件が素晴らしい」と語ってくれました。

こうした経緯を受けて、6月12日第1回の組織委員会が開かれ、翌13日には NORC の理事会に準備状況と今後の問題等を次のように報告しました。

○現場組織の対応

葉山マリーナにレース本部を設置することとし、この中に競技、競技艇、ジュリー、通信、ホスピタリティ、ボート、広報の各委員会を設け、具体的な準備に入る。特に「レース実施要項」「帆走規則」「艇及びセールの管理に関する規則」を、NORC 関係委員会の指導の下で早急に作成します。

○海外招待者

選手としては：  
ゲリー・ジョブソン（米）  
クリス・ディクソン（ニュージーランド）  
の二人から既に参加意思表示を受けており、更に非公

式に：

ピーター・アイスラー（米、Stars & Stripes のタクティシャン）

エディ・ワーデン・オーウェン（英、White Crusader のタクティシャン）の二人の参加希望を受けています。選手については、アメリカ杯レースの終了後世代交替が進んでいるような動きも見られ、この辺を見極めながら残る二人のスキッパーを招待したいと考えています。

この他“コンファレンス”の役員、インターナショナル・ジャッジ、それにヨットの有力なジャーナリストも招待の予定です。

○国内予選

海外からの招待6チームに対する国内の2チームについては、内1チームを地元葉山マリーナ・ヨットクラブよりのエントリーとし、クラブ内で選抜を行います。残る1チームは NORC よりの推薦によるものとし、各地推薦のチームを集めて選抜レースを行うことについても検討中です。

○テレビの対応

NHK が11月14日(土)15日(日)の両日午後各2時間の放送を行うことを決定している他、12日より15日の全レースを衛星放送で中継することも検討中。また米のスポーツ専門放送局 ESPN とも交渉中です。

この他今回のレースでは、外国選手が日本国籍の艇に乗り込むことになる為、船舶職員法の問題が出てくることになり、清水専務と久保常務に運輸省との交渉にひとかたならぬ御苦勞をおかけしております。

今後ともレースへ向けての準備状況などを Offshore の誌面をお借りしてお伝えしてゆく予定です。

ニッポンカップ国際ヨットマッチレース事務局

# RCCミッドサマーフェスティバル

## ひろしまカップ宮島ヨットレース

### ご案内

拝啓 初夏の候 皆様には夏のシーズンに向けて胸ときめかせていることとご拝察いたします。弊広島フリートの行事に参加いただき厚くお礼申し上げます。

さて、表記の通り株式会社中国放送の共催をいただき、7月25日・26日の両日、1987 RCC ミッドサマーフェスティバル・ひろしまカップ宮島ヨットレースを開催いたす運びとなりました。

7月25日19:00より安芸グランドホテルのご好意により「思い切りオシャレパーティー」を行ないますので目一杯ドレスシーに着飾ってご参加ください。アトラクションも色々準備いたしています。眼下に夕闇に映るレース艇群を見つめつつ、バックミュージックにリズムをとりながら、グラスを傾ける、夏の夜を最高に演出してみませんか……

翌26日10:00 レーススタートで宮島水道を舞台にこの夏のドラマを創りませんか、レーシングクラス、クルージングクラスの2クラスに分けレースを行ないます。NORC クルーザーレーティングに基づき、女性、子供、65歳以上の乗員、船齢等を加味しボーナスを与え、どの艇が優勝するか予測できない楽しいレースを行ないます。

猛暑を吹き飛ばすほどの賞品を用意いたしています。また、ラッキー賞には、(株)オートラマ提供の「フェスティバ・キャンパストップ」を準備いたしました。ラッキー賞の当る条件として、前夜祭にレース乗員の半数以上の参加、最低2名、申込期日まで参加料を添え申込が必要条件です。

ひろしまカップは(株)中国放送特別注文のオリジナルカップです。数々の賞品を用意いたしていますので、僚艇お誘い合せの上この「ひろしまカップ宮島ヨットレース」にチャレンジしてみてください。

広島フリート一丸となって皆様のご参加お待ちしております。 敬具

前夜祭、レース、数々のイベント、表彰式の様子を(株)中国放送が取材し、ニュース、7月27日11:00からワイド番組「橋本君と寺内君」、8月2日14:00から1時間特別番組として放映されます。ご家族、友人、知人、親類縁者にお知らせの上ご視聴の程お願いいたします。

1987年6月30日

社団法人 日本外洋帆走協会  
西内海支部 広島フリート

### 開催要項

- 主 催／社団法人日本外洋帆走協会  
西内海支部広島フリート
- 共 催／株式会社中国放送
- 協 賛／株式会社オートラマ  
株式会社安芸グランドホテル  
大野町  
ヤマハ中国株式会社  
広島ヨット倶楽部 (1987年6月末現在)
1. 開催期日／7月25日(土)～7月26日(日)
  2. レース海域／宮島島居前～宮島水道
  3. 参加資格／クルーザーヨット全般  
(但し法定検査済の艇でレース委員会の認めた艇)
  4. 参加艇数／先着100艇
  5. 適用規則／国際ヨット競技規則及び帆走指示書による。
  6. 乗員規定／最低乗員一成人(20歳以上) 2名以上
  7. 参加申込／1987年7月20日迄に申込書に参加料を添えて申し込む。
  8. 申込・問合せ先／(社)日本外洋帆走協会  
西内海支部広島フリート  
〒734 広島市南区宇品海岸1-11-21  
チャートハウス内  
☎082-251-8683
  9. 参加料／出艇料—1艇につき¥5,000  
前夜祭—1人につき¥3,000
  10. レース区分／レーシングクラス  
クルージングクラス(クルージング仕様艇でオールドボート、ファミリークルーザー艇等レース委員会の認めた艇)
  11. 適用レーティング／NORC クルーザーレーティングを使用。  
未取得艇はレース委員会が決定する。
  12. レース方法／1レースの成績をもって各クラスの総合順位を決定する。

表彰は各クラスごとに行う。

13. 賞及賞品/各クラス優勝 RCC 杯  
 上位入賞(各クラス)トロフィー等  
 副賞 賞品等  
 その他、最多ファーストホーム賞、遠来賞、レディス賞、飛賞、他
14. 特別ラッキー賞/フェスティバ・キャンパストップ(株)オートラマ提供  
 エントリー資格は前夜祭にレース乗員の半数以上、最低2名が参加し、申込期日まで参加料を納入のこと。
15. ボーナス制度/女性、12歳未満の子供、65歳以上の方の乗艇、船齢等
16. スケジュール/  
 7月25日18:00 艇長会議  
 19:00 前夜祭「思い切りオシャレパーティー」  
 安芸グランドホテル  
 アトラクション  
 「オルケスタ'84」サンババンド演奏  
 ミスミッドサマー水着コンテスト  
 「チャー今井・エアロビックス」
- 7月26日10:00 レーススタート  
 15:00 タイムリミット  
 16:00 表彰式
17. レース協賛行事/レース観戦会・実況放送  
 ヨットレース写真撮影会  
 ジェットスキーデモンストレーション  
 パラセールデモンストレーション

水上スキーデモンストレーション  
 その他

18. 「ひろしまカップ宮島ヨットレース」テレビ放映  
 7月27日(月)11:00 ワイド番組「橋本君と寺内君」  
 8月2日(日)14:00 1時間特別番組
19. 宿泊希望者/広島フリートとしては、安芸グランドホテルをおすすめします。  
 予約は、直接同ホテルへ申込み願います。  
 安芸グランドホテル 予約専用電話 0829-56-1717  
 シーズン中ですので広島フリートとしては部屋の確保はしていません。ご予約はお早目に、満室の時はあしからず。
20. 係留場所/申込後当広島フリートから係留地指定を行います。
21. ミスミッドサマーを公募しています。ころあたりの方は同伴ねがいます。ミスに選出されたご褒みに、ハワイ旅行を検討中です。

申込期限/1987年7月20日必着

申込書及参加料送付先/〒734 広島市南区宇品海岸

1-11-21

チャートハウス内 広島フリート事務局宛て  
 ☆ラッキー賞エントリー資格/レース乗員の半数以上、3名乗員の場合2名(但し大人)が前夜祭「おしゃレパーティー」に参加しないとエントリー資格がありませんのでご留意願います。

☆NORCクルーザーレーティングについてのお問合せ先

田村 治久 (253-8606・夜278-0904)

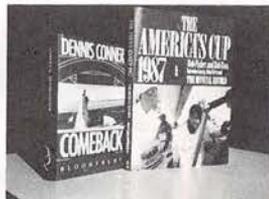
中村 享司 (242-1200・夜0823-51-4502)

## カムバック

### ～デニス・コナーの長かった4年間

デニス・コナー自身が語るカムバックの物語である。'83年のレースで敗れ、ニューヨーク・ヨット・クラブを去ってから、今年のレースでチャレンジャー〈スターズ・アンド・ストライプス〉で再びアメリカにカップを持ち帰るまでの苦しかった4年間のコナーの戦いが60枚余りのカラー写真とによって再現されている。開催地フリーマントル沖の悪名高い強風対策をどのように講じたか、クルーとのチームワーク、レース展開等がコナーの生き生きとした調子で語られている。

ブルームズベリー・パブリッシング刊 234ページ  
 図版 60 (カラー) 定価4,390円



お求めは全国主要洋書取扱い店で、通信販売をご希望の方は下記までお申し込み下さい。

洋書ビブロス

〒160 東京都新宿区高田馬場1-26-5

FIビル4F Tel 03(200)4531

## 大島ランデブーのお知らせ

横浜フリート 安岡信一

いよいよ夏のシーズンとなりました。横浜フリートが行って来ました、大島ランデブーも14回目を迎える事になりました。本年はご承知であると思いますが大島は災害を受けました。我々は日頃波浮港を自由に使用させて戴いている感謝の気持ちを込め、災害から復興の為活躍されている、地元の皆様と交流を暖めながら、楽しい一夜を過ごしたいと思います。また我々ヨット乗りも、年一度本土を離れ島の港で会し、交流を計りたいと思いますので、奮って御参加下さい。

記

日 時 8月15日(土)09:00 波浮港集合  
10:00より地元中学生のヨット試乗会  
(交流の一貫として行います各艇の御協力をお願い致します)

パーティ 19:00より 波浮港漁協前岸壁にて

会 費 申込み金 一艇 2,000円  
一名 3,500円

申込み先 横浜フリートキャプテン 安岡信一  
〒210 川崎市幸区南幸町1丁目33番地  
☎044-544-7885  
またはN・O・R・C 関東支部事務局

期 日 8月10日 準備の都合で厳守を願います。

## 安全講習会

玄海支部 片倉静江

5月24日(日)、15:15、4年振りに安全講習会を開いた。出来れば毎年開くべきではあったが、いろいろ「家庭」の事情があって実現せず、今回の開催にこぎつけた。

安全講習会の後に、海技免状更新説明会も行った。福岡海上保安部警備救難課からは、山田高士専門官、香 雄一係長、また、九州運輸局福岡海運支局船員課からは、金城史郎課長が出席された。免許保持者の40パーセントが、今年の4月から来年3月末日迄の間に更新予定の筈。スライドと山田専門官による講義につづき金城課長の説明、そして16:30より、岸壁でライフラフトを開き、また期限切れの安全備品、特に救難信号等打ち上げた。安全講習会に参加していつも思うのは「出来れば一生使いたくない。でも使用方法を知らなければ尚不安」であり、沖縄で、リーフに乗り上げ、ライフラフトで脱出した例等もあり、何も緊急時とはかぎらないので使用方法を熟知しておくべきだと思う。パラシュートフレイヤー等、所轄警察署に事前に

届け出るものは講習会にまかせるとして、今後、それぞれ持っているライフラフトの期限切れの時、つまり業者が引き取りに来る日に、海上で開き、何分位で乗り移れるか是非やってみたい。

そういえば、「この俺にかぎって!」と、講習会に背を向けてコックピットでおしゃべりをしていたヨットが数艇いたが、自信がおりなのはよくわかるが、その自信が、いつか裏目に出る事も考えられるので、次回からは是非参加して欲しい。(人様の安全備品を借りて検査を受けている様な人は小戸のヨットハーバーにはいませんよね? そんな人がいる筈がな



講師 山田高士専門官

小戸ヨットハーバークラブハウス2F 第一会議室



ライフラフト 試し開き



ディンギースロープ 横

# お元気ですか?

内海支部事務局から

メルボルンレースの興奮今ださめず、記事を見るたびに新たな思いに浸る今日この頃です。

去る6月5・6日、〈波切大王〉にてみごとに優勝を成し遂げられた、トンプキンス氏を、友人の紹介にてお招きする事ができました。『日本一美しい白サギ城を見ずして日本へ来たとは言えません。』の一言で、忙しい時間を割いての姫路へのお運びでした。それはすてきな娘さん ERIN も一緒に。

木場Y・Hから、夕陽の沈む瀬戸内海へくり出し、水はきたないまでも、地の利には感嘆の言葉を頂きました。次の日は御足労頂き、姫路市役所への訪問、姫路城見物（ここにはチョンマゲ殿様姿のユニークな案内をして下さる方がおり、大うけでした。）小学生との質疑応答、サイン会。なんと子供達には歌の上手なピチピチギャル ERIN の方が大受けで。ウーンわからんでもない……。夜は木場Y・Hのクラブハウスにて、各ヨットクラブのメンバー、地元自治会のおじ様方40名ほどで家族的なミニパーティ。時差ボケと言いながらも元気な ERIN 嬢は疲れを知らず、播州姫路のデスコチックへ。

優勝の台に立つ近寄りたがたい、Mr コモドールは、実に気さくなおもしろいおじ様でした。

この度行われたメルボルンレースは、大阪からグッと外れた我が町姫路でさえも、おじいさんおばあさんから子供まで広く知られ、それだけにトンプキンス氏の来姫は、皆が大喜びでした。海へのトビラがまた1つ開かれたかな。

さて、内海地区、7月8日のレース予定は下記のとおりです。

- 7/26 21世紀カップ淡輪レース
  - 8/1,2 家島群島一周レース
  - 8/14 15周年記念阿波踊りレース
  - 8/30 マスカットレース
- 地元色ある、楽しいレースばかりです。ふるって御参加下さいませ。



## 第23回 大阪湾横断レース成績表

昭和62年5月31日

順位	艇名	艇種	セーLNo	オーナー名	レーティング	T.C.F	所属	フィニッシュタイム	所要時間	修正時間	着順
1	ベネローブ	YR-30	3607	植松由量	22.75	0.7370	須磨	14:12:05	25925	19107	4
2	甲龍 VIII世	YOK-30	1203	甲南大学	22.65	0.7359	須磨	14:13:41	26021	19149	5
3	フォーラム	HOL-33	2771	織田融高	23.85	0.7484	出島	14:07:21	25641	19190	3
4	ブルーシーガル	ソレイユルボン	2447	遠藤正男	18.50	0.6901	出島	14:44:43	27883	19242	15
5	サムシング	JOY-26	2951	岡田正弘	21.50	0.7237	須磨	14:33:21	27201	19685	6
6	朝風	NIC-30	3455	伊藤耕磁	22.14	0.7305	須磨	14:34:13	27253	19908	9
7	カウベル	TAK-31	3178	三浦克比古	22.35	0.7328	須磨	14:33:37	27217	19945	7
8	セント・アポロニア	YOK-40	1090	三谷惇夫	30.44	0.8117	西宮	13:56:51	25011	20301	2
9	サザンクロス	YOK-30	3301	吉武睦広	22.36	0.7329	須磨	14:42:00	27720	20316	13
10	ブルメリア	EDV-30	3499	中西達郎	23.50	0.7448	須磨	14:35:36	27336	20340	10
11	バイ・ザ・ウインドセーラー	X-99	3680	巳斐健一	31.00	0.8168	須磨	13:55:29	24929	20362	1
12	リビングスバイス	EDV-30	3200	細谷行雄	24.00	0.7499	須磨	14:42:36	27756	20814	14
13	サチ III	YR-34II	3279	福原幸洋	25.44	0.7644	西宮	14:34:06	27246	20827	8
14	スウィング	DEH-38	3562	鈴木重行	28.22	0.7912	西宮	14:35:52	27352	21641	11
DNF	ラレーヌ・ド・サバ	Y-30C	3326	長尾 正	22.10	0.7301	出島	DNF			
DNF	マッド・スキッパー	JOY-26	3246	田坂吉平	21.50	0.7327	須磨	DNF			
DNF	ケルビーノ	VF-30	—	永信修治	23.70	0.7468	須磨	DNF			
DNF	ラ・メール	BAR-24	2006	森下未知数	18.96	0.6954	本荘	DNF			
DNF	スウィング・ベル	Y-26C	3221	美藤裕志	18.70	0.6924	須磨	DNF			
DNF	シーフィーバー	PAI-9	3658	山本 誠	21.80	0.7269	琴塚	DNF			
DSQ	オーラム III	NIC-30	2366	川村公逸	22.15	0.7306	須磨	14:38:51	27531		12

## NORC 第37回大島レース成績表

スタート時刻：昭和62年5月30日11時30分

レース委員長：小田切満寿雄

CL順位	SAIL #	艇名	初島回航	大島回航	到着時間	着順	T. C. F	修正時間(秒)	総合順位		
I	13	2112	FUJI III	17:58' 00	06:39' 00	15:23' 20	13	0.8682	87167	19	
	10	188	CONTESSA VIII	18:20' 00	05:10' 00	14:43' 23	9	0.8294	81284	16	
	III	4	355	SLEEPER	17:40' 00	02:59' 00	12:41' 22	1	0.8327	75511	5
		9	2611	MAPLE	17:47' 00	06:10' 00	15:15' 38	11	0.8075	80700	15
	5	3039	FORTY	18:55' 00	04:30' 00	13:39' 11	4	0.8120	76451	7	
	6	3233	SEE ADLER V	20:55' 00	04:17' 00	14:17' 00	5	0.8267	78871	12	
	8	3335	織 姫	19:00' 00	04:40' 00	14:33' 04	7	0.8209	79943	14	
		3355	雪 風 V					0.8128	RET		
	7	3410	ZERO II	19:45' 00	04:44' 00	14:33' 45	8	0.8205	79937	13	
		3519	LAVIEEN ROSE					0.8095	RET		
	1	3537	WILL	18:40' 00	03:27' 00	12:43' 23	2	0.8126	73787	1	
	11	3544	BLUE NOTE	—	06:15' 00	15:08' 00	10	0.8204	81613	17	
	12	3660	青海波	—	—	15:21' 50	12	0.8161	81863	18	
2	3705	MATENROW	17:35' 00	03:05' 00	12:55' 31	3	0.8181	74882	2		
3	3001	HALF TIME	19:43' 00	04:12' 00	14:31' 16	6	0.7703	75932	3		
IV	3	386	MORE JOY CINQ					0.7670	DNC		
		2182	KELONIA	20:25' 00	06:28' 00	15:47' 18	17	0.7522	76603	9	
		2221	梓					0.7572	DNF		
	4	2263	DISCO DORI					0.7555	DNF		
		2422	青 葉	19:50' 00	06:20' 00	15:50' 37	19	0.7550	77038	10	
		2690	くろしお III					0.7506	RET		
	2	3002	SYLPHIDES					0.7396	RET		
		3044	MRS. MEDAUSAE	19:45' 00	05:00' 00	15:48' 23	18	0.7513	76560	8	
		3152	CRIMSON					0.7689	RET		
		3290	海 太 郎 III					0.7552	RET		
		3351	BIG SHOT					0.7434	RET		
	1	3530	SUMMER KNOWS					0.7575	RET		
		3561	CA ET LA	19:00' 00	05:20' 00	15:27' 08	14	0.7563	76105	6	
		3575	かぐや姫					0.7417	DNC		
	5	3577	都 風					0.7404	RET		
3606		BOY	20:15' 00	07:20' 00	15:46' 09	16	0.7624	77589	11		
3685		青波行					0.7448	RET			
V	1155	一 乗 III					0.7337	RET			
	2707	SPRIG					0.7127	RET			
	2979	SEA CROWN III					0.7385	RET			
	3306	RIPPLE II					0.7327	RET			
	3333	TABATHA					0.7337	RET			
	3373	AFRODITA					0.7266	RET			
	3387	BASIC					0.7247	DNF			
	3414	OTSHOSAN					0.7389	RET			
	3447	VERMILION					0.7329	DNC			
	3494	ARC-EN-CIEL					0.7360	DNC			
	3501	SONN BLUME					0.7354	RET			
	3510	TRACER					0.7313	DNC			
	3518	は 組					0.7361	DNF			
	3558	MAY BE					0.7360	RET			
	3670	再 見					0.7347	RET			
1	3699	NOVA 40	19:08' 00	06:28' 00	15:43' 17	15	0.7390	75080	4		
	3711	RACCON					0.7372	RET			
VI	3571	CROW					0.6961	RET			

\*クルーザー・レーティング・クラス (距離：85哩 タイムテーブル：I)

CL順位	SAIL #	艇名	初島回航	大島回航	到着時間	着順	R. m	修正時間(秒)	総合順位
	1771	潮 路 III					8.70	RET	
	3466	AZZURRA					7.65	RET	

## 1987年NORC近畿北陸支部レース ポイントレース 5.6回戦

Sail No	艇名 艇種	T.C.F 持点	5 回 戦				6 回 戦				合計 得点	備考
			着 順	所要時間	修正秒	修正順 得点	着 順	所要時間	修正秒	修正順 得点		
3324	CREEK KAN-23	0.6699 33.3/4	1	1:07:50	2,726	1 8.1/4					42.0	
3300	AKVAVIT TAK-1/8	0.6711 12.0	2	1:10:45	2,849	2 7.0	ノ				19.0	
3652	KATANA KAN-23	0.6662 0	3	1:11:53	2,873	3 6.0	丨				6.0	
3257	Wonder Boy TAK-1/8	0.6723 27.0	4	1:12:15	2,914	4 5.0	レ				32.0	
3370	MIX MAX KAN-23	0.6699 24.0	5	1:16:05	3,058	5 4.0	丨				28.0	
2756	PUNPKIN 2 YAM-21S	0.6612 22.0	6	1:19:23	3,149	6 3.0	ス				25.0	
2735	ESPERANZA YAM-21S	0.6612 0	7	1:41:17	4,018	7 2.0					2.0	
350	MARIE YAM-21C	0.6612 0		T. L		1.0					1.0	

Start 6月14日 11時30分  
S W 2~4m/sec

帆走委員長：秋山 福夫

桜井隆彦写真集

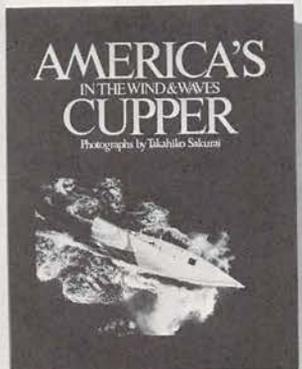
最新のテクノロジーを随所に積み込んだモンスター、アメリカズ・カップ。  
そして、それを駆使してカップを狙う、海の男たちの物語。

海洋写真家・桜井隆彦が、136年もの歴史を誇る史上最大のヨットレース、  
アメリカズ・カップ'86/'87を西オーストラリアで完全取材。

写真作品に加えて現地取材ライターによる解説

- 各予選レース解説、ファイナルレース解説
- 勝利艇スターズ&ストライプス
- デニス・コナー物語
- これからのアメリカズ・カップ

A4変形・ハードカバー・120ページ 定価3800円 発行 マリン企画



★NORC会員特別価格：3500円(送料込み)

申込み先

東京都港区北青山3-12-7 秋月ビル6F TEL03-406-5445

(株) アイピーエス

「アメリカズ カッパー写真集係」

# 東京港架橋工事に伴う工事作業区域の変更等のお知らせ

東京湾海難防止協会  
 東京情報安全管理室 TEL.045(212)2232  
 芝浦分室 TEL. 03(769)3166

首都高速道路公団第三建設部 TEL. 03(769)0815  
 東京港連絡道路工事事務所  
 三井・五洋・白石共同企業体 TEL. 03(529)3963  
 鉄道・東洋・大豊共同企業体 TEL. 03(769)0861

東京港架橋工事では、台場側において、引き続き工事が行われていますが、6月11日から、工事作業区域が変更して設定され、「航泊禁止」となります(京浜港長公示第62-105号・昭和62年5月18日)。これによって、第6台場と第3台場の間の水路は、船舶の可航幅が90mになりますので航行船舶は十分ご注意ください。

## 記

1. 期 間 昭和62年6月11日～昭和62年6月30日まで
2. 工事内容 地盤改良工(土砂投入)、仮設棧橋基礎工(鋼管杭打設)
3. 工事作業区域 (図-1、表-1 参照)

図-1



(註) 白ヌキ点線部は旧工事作業区域と水路の状態を示す。

表-1

点名	基点	方位角	距離
イ	第3台場三角点から	252°-00'	360m
ロ	イ、から	289°-00'	435m
ハ	ロ、から	19°-00'	150m
ニ	ハ、から	41°-30'	200m
ホ	ニ、から	109°-00'	200m
ヘ	ホ、から	109°-00'	190m
ト	ヘ、から	204°-30'	170m

参考図-1



## 5. その他

- (1) 工事作業区域の周辺には4隻の警戒船が配置されています。
- (2) 芝浦側の海上工事は5月31日完了となり、工事作業区域が解除され、灯浮標は撤去されます。  
 なお同岸壁には新設の護岸(33m25×97m20)が張り出しています。(参考図-2 参照)

## 4. 標 識

- (1) 工事作業区域を示す灯浮標が表-2のとおり設置されます。

表-2

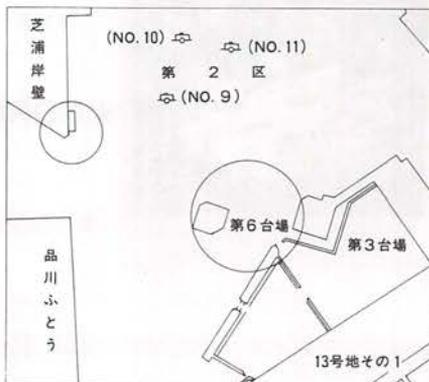
点名	塗色	灯色	灯質
ロ、ハ、ニ、	赤	赤色灯	3秒1閃同期
イ、ト、ヘ、	緑	緑色灯	4秒1閃同期
ホ	黄	黄色灯	

- (2) 水路を示す灯浮標が表-3のとおり設置されます。

表-3

点名	塗色	灯色	灯質	期点	方位角	距離
チ	緑	緑光色	4秒1閃同期	イ、から	236°-30'	150m
リ	赤	赤光色		第3台場三角点から	253°-30'	280m
ヌ	赤	赤光色		リ、から	24°-30'	166m
ル	赤	赤光色		ヌ、から	24°-30'	170m
a	赤	赤光色		第3台場三角点から	245°-30'	380m

参考図-2



# 新登録艇の紹介

セール番号, 艇名, 帆装, フリート, 全長×水線長×巾×吃水, オーナー名, その他の順 ☆印は会友艇

389 NADJAⅣ タカイ39 小網代 11.79×9.1×3.92×2.13 白崎謙太郎

セブティーンスターズ スループ 須磨ヨットハーバー 8.10×7.10×2.82×1.32 寺尾満喜夫, 湊章夫, 重松享樹, 安井幸男, 寺尾隆志, 小原裕, 北井和志, 井上克朗, 酒井秀人, 梅本博司, 吉田州広, 他/艇名の由来: 17名の共同オーナーで発足したので, セブティーンスターズと名付けた。また, マークは大きな星を中心に16方位に小さな星を配し, センターの星を中心に手をつないだようになり, 和と行動力を表わした。/抱負: 近く, 30フィートに乗り換えて, 沖繩くらい迄クルージングしたい。計画はしているものの, なかなか実現しないが, 中国の天津港訪問をなんとか実現させたいし, レースも肩の凝らない程度に参加したい。

2771 FORUN ホランド 出島漁港 10.27×8.07×3.28 織田融享, 石橋康男, 小北高明, 河江隆善, 田中省三, 谷川正人, 望月民三, 山口広一, 芳村益美 /艇名の由来: メンバーの店の名前。/クルー: 藤田英次, 山野敬一

3750 ECSTACY ヤマハ30cⅡ 油壺 8.97×7.36×3.18×1.75 今津信治, 有本俊一, 松井克洋, 橋本太郎 /艇名の由来: 理性を失うほど素晴らしい船であるため, ECSTACY としました。

OFFSHORE 第148号 昭和62年7月15日発行  
毎月1回15日発行  
昭和52年7月21日 第三種郵便物認可  
1部定価300円(郵送料45円)

発行 社団法人 日本外洋航海協会  
東京都港区虎ノ門1-15-16(船舶振興ビル4階)  
電話・東京03(504)1911~3 〒105  
郵便振替番号2-21787  
印刷 正進社印刷株式会社

# ヨット&ボートの本格派月刊誌 **ヨットینگ** **Yachting** SAIL & POWER GRAPHIC MAGAZINE

**8月号**  
好評発売中  
A4変型 定価850円



特別付録 **クルージングのための  
巡航派必携 イエローページ全国版**  
次号9月号 8月10日発売

ニューボートガイドانس  
ヨット  
岡崎造船のモーターセイラー30  
ボート  
ヤマハのフォーミュラ311

新連載 **世界周リースレポ**  
by サイモン・ルボン

特集 **スクリーニング  
ス。ペ。シ。ヤ。ル。グ** 全国版  
●東京湾アーバンクルージング  
●クルージングファンのための  
●全国ベストアンカレッジ  
●クルージングボートのための  
ギア&アイデアアカタログ

〒141 東京都品川区東五反田3-6-18 **立風書房** TEL447-1191 振替 東京5-74493

## 風よりも、前へ。

世界のレーシングシーンでも通用する、高性能で勝てるヨットを、こうした熱い期待にお応えして、ヤマハがもてる技術と経験のすべてを注いで建造するY-Rシリーズ。すでに、数多くの精鋭を生み出し、国内はもとより海外でも高い評価を得ています。Y-Rシリーズは、今年も、今年こそ、ただ勝つために走り続けます。



YAMAHA-R30STD

L.O. A 8.98m • BEAM 3.10m • DRAFT 1.85m • DISPL 2.70ton • BALLAST 1.20ton • SAIL AREA 38.57m<sup>2</sup> • I.O.R.R. (about) 22.5feet



YAMAHA-R34II

L.O. A 10.40m • BEAM 3.35m • DRAFT 1.90m • DISPL 3.70ton • BALLAST 1.80ton • SAIL AREA 50.03m<sup>2</sup> • I.O.R.R. (about) 25.0feet



YAMAHA-C35CR

L.O. A 10.60m • BEAM 3.35m • DRAFT 1.90m • DISPL 3.95ton • BALLAST 1.80ton • SAIL AREA 45.73m<sup>2</sup> • I.O.R.R. (about) 25.45feet



YAMAHA-R38

L.O. A 11.51m • BEAM 3.60m • DRAFT 2.10m • DISPL 5.10ton • BALLAST 2.45ton • SAIL AREA 62.26m<sup>2</sup> • I.O.R.R. (about) 29.1feet



YAMAHA-R FARR40

L.O. A 12.19m • BEAM 3.99m • DRAFT 2.29m • DISPL 5.76ton • BALLAST 3.39ton • SAIL AREA 73.66m<sup>2</sup> • I.O.R.R. (about) 30.5feet



## YAMAHA-R SERIES

●Y-Rシリーズは基本仕様をベースに、お客様のご要望により、仕様の変更、レーティング対策などを打ち合わせのうえ建造いたします。  
●なお、シリーズ艇以外のご相談もお受けいたします。

### FOR GOOD MARINE LIFE! 安全がマリンスポーツの基本です。

■天気予報を確認して、無理のない航行を。■法規やマナーを守りましょう。■立入禁止水域や船舶航行の頻繁な水域は避けましょう。■点検・整備を忘れずに。■乗船前に、免許と法定備品の確認を。■漁業者に迷惑をかけるないようにしましょう。  
●カタログご希望の方は、船名・雑誌名を明記のうえ、宣伝課まで。●ヤマハ発動機株式会社 千438 静岡県豊田市新貝2500

ヤマハ製品についてのお問い合わせは、下記までどうぞ。

北海道ヤマハ株.....☎011-612-1060	ヤマハ関西株.....☎06-535-1671
ヤマハ東北株.....☎022-235-1031	ヤマハ中国株.....☎082-285-4911
ヤマハ東京株.....☎03-572-2021	ヤマハ西国株.....☎0878-67-3800
ヤマハ中部株.....☎052-913-2121	ヤマハ九州株.....☎092-472-5261